

安全



安心

JAL不当解雇撤回ニュース

No306号 2012.8.9
発行: JAL 解雇撤回国民共闘事務局
連絡先: 航空労組連絡会事務局
〒144-0043 大田区羽田 5-11-4
フェニックスビル内
TEL: 03-3742-3251 FAX: 03-5737-7819
<http://www.jalkaikotekkai.com>

理不尽の極み！ 外国人投資家に135億円も配当し JALを支えた165名の解雇は撤回せず 猛暑の7月も元気に宣伝



【写真】7/11猛暑の中、JAL本社前宣伝行動を実施。シュプレヒコーラーは原告の加藤千加子さん。

いよいよ9月には証人尋問。原告団は7月の暑さに負けずに全国で支援者とともに不当解雇撤回を訴えました。
7月に取り組んだ定例の宣伝行動をお知らせいたします。



7・3裁判所前 東京争議団宣伝行動&署名提出



8時からの東京争議団宣伝行動では、8種類の争議支援のビラを1,000枚配布し宣伝行動を行いました。その後、高裁へ団体署名300筆(累計9,750筆)、個人署名1万筆(累計225,000筆)を提出し、十分な審理と公正な判断を下すよう要請しました。引き続き署名へのご協力をお願いいたします。

7・3 JAL プラザ前(有楽町) 宣伝行動

裁判所前での宣伝・要請行動の後有楽町へ移動し、JALプラザ前には強い日差しの中、たくさんの幟旗がはためきました。お昼にかけて通行量も増えビラも多くの方々を受け取って下さり、署名も集まり、日東整争議団とともに空の安全と不当解雇撤回を大きく訴えることができました。



【写真】JALプラザ前での宣伝行動の様子です

7・11 本社前宣伝・要請行動



猛暑の11日、原告、支援者100名近くが本社前に集まり宣伝・要請行動が行われました。10名の支援者と原告らが登壇し、JALの労務姿勢をただし不当解雇撤回に向けた自主解決を訴えました。JALへの要請には両団長、日東整、雇止め原告も含め12名が入りましたが、これまで通りの不誠実極まりない対応に終始しました。登壇した方々の訴えをご紹介します。



アベノミクスは一握りの多国籍大企業の利益しか考えていません。この闘いに勝つことは、労働者の権利を守るだけでなく、日本経済、地域社会を守るたたかいでもあるのです！
全労連井上事務局次長



原発も JAL の問題も安全といのちを大切にす
る共通の課題。再稼働を
許さないたたかいととも
に JAL の不当解雇撤回
のたたかいを全国に
広げていきます！
全統一労組田宮委員長

4つの裁判の弁護団を
担当していますが、JALの
闘う組合つぶしが労務姿
勢のあちこちに表れてい
ます。9月、10月とさらに
熱くたたかきましょう！

東京南部法律事務所
黒沢弁護士



外国人投資家が株主の
4割を超え外国人拝金主
義者が JAL を支配する
ことになりかねません。
たたかいを一回り、二回
りと大きくしていきましょ
う！
東京国公植松事務局長



皆様のおかげで9/12に高裁で証人尋問に立つことができます。この3年間のことは80分では語り尽くせませんが、絶対に勝つぞ！という思いで頑張ります！

CCU 深田副委員長



ベテランがいなくなり現場は必死の思いで頑張っていますが何が起きてもおかしくない状況です。利益優先の労務姿勢を正し、経験者を職場に戻すために頑張ります！

JLU 諏訪書記長



JALが破たんした2日後に「整理解雇はしない」と労組に説明したが、解雇を強行。破たんの翌月には稲盛さんが手がけたウイルコムも経営破たんしたが一人も解雇しなかった。信義則違反として徹底的に追及していく。

乗員原告谷口さん

私たちは、この本社ビルの建設を含めHSSTやリゾート開発などではなく、本業である輸送の安全と旅客のためにこそお金を使うべきと提言してきました。経営はILO勧告をきちんと検討すべきです！

客乗原告宍戸さん



現在、正社員の職場でも凄まじいパワハラが行われています。JALは地裁、高裁で認定されたパワハラを不服として同じように最高裁に上告しています。

JALがきちんと謝罪し自主解決をするまでたたかいます！

契約制 CA 雇止め撤回裁判原告

これから要請に入ります。JALは誠意ある対応をすべきです！

～ 要請文を読み上げる ～

乗員原告山口団長



【写真】JAL本社玄関外で真摯な対応を求める要請団



勝利への決意！

10・25 JAL不当解雇撤回

文京シビックホール 18:00開場、18:30開演

主催：国民支援共闘会議